

需要という企業の生命線

令和6年9月11日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

企業は唯一需要を得て自己が成り立つ。そのため、マーケティングと分析はその企業構築をより優れたものとするのである。

生活需要という絶対要求は、全ての企業における絶対的な基盤である。全ての人々は生活への要求と必要性を有するのである。

これが経済の原理原則である。それにおいて企業は自己が与えられるのである。

これら企業行動の適切化は、マーケティングと市場分析において企業行動を行うことなのである。

これらは消費者要求と需要への正しい認識は自己製品の構築と企業行動を正しくあたえることができるのである。

これらは企業の方向性を明示し、市場を牽引することはそれら理解とともに企業構築を再度行うことにおいて実現できるのである。

需要を創造することと、需要への適切な製品サービスを提供することは、企業経営の安定性と健全性を行うことができるのである。

これらは生活という要求と現実においてその優れた製品とサービスを提供することにおいて、固定化した需要を有することにおいて企業が自己を与えられる正しい企業サイクルの形成を行うことができるのである。

これらは企業構築がマーケティングの補足と分析において企業の生産環境を整備し、正しい企業経営を行うことで、企業の自己環境の健全性を実現できるのである。

これらは今日ビックデータとITシステムにおいてこれらの自動化が可能であり、これらが新たな企業経営環境を構築することは可能なのである。